



radio Camnetに続くマガジン版 雲心月性

大槻ワールドへようこそ

Camnet マガジンをお楽しみの皆様。マガジン版「雲心月性」です。いかがお過ごしですか？

大槻は 2021 年 3 月末まで在籍していた川崎医科大学の中の川崎医学会の運営委員長でデジタルサイネージに機関誌への投稿を促すスライドを月の前半 2 枚、後半 2 枚で流しています。Ms. Keiko C の描いたイラスト、Ms. Saori T の絵手紙と僕の写真です。2021 年の 1 月と 2 月のスライドを紹介いたします。

謹賀新年



去年の幕開けもアマビエへの祈りになっていました。



柿に雪。ちょっと雪の帽子が重たそう。



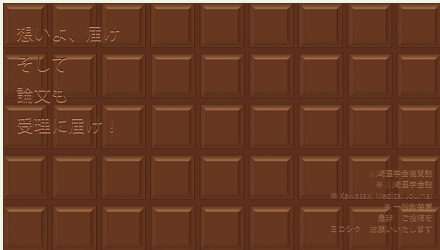
福を祈る「良いこと、たくさん」



窓の外は雪景色。裸の木々の陰影が素敵なコントラストです。



そして、少女は暖かい外套を着ています。



そして、あなたに届け。想いとチョコレート。



ハートの形に想いを封じ込めています。



梅が咲き始めました。春の息吹です。



そして雪も舞う。想いも少しだけ戸感っているみたいで、まだ、あなたには伝えられない。



そして季節が巡って、同じ季節、同じ日付に近づいてくるのなら、同じ街の灯りを併せに感じることができるようです。

*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_**

さて、オリジナル曲の歌詞紹介。「淋しさを抱きしめて」は、大槻の作詞作曲です。サブスクなどではリリースしていませんが……。

淋しさを抱きしめて 眠ってしまおう
目覚めた頬に涙 流さないように
朝になれば光に 淋しさを溶かして
一人 陽気な顔で 街へ出かける
人ごみのざわめきに 紛れたならば もう

淋しさを閉じ込めた 小さな部屋にも
白いカーテン越しに 陽射しは溢れる
宛名のない手紙に 淋しさを詰め込み
海へ 流していれば 夢も生まれる
面影も浮かばない あなたを待てば もう

淋しさを抱きしめて 眠ってしまおう
淋しさを抱きしめて 眠ってしまおう

♪オリジナルCDプレゼントします！詳しくはプレゼントコーナーで

*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_**

2 か月分のコラムですので、時事的な話題は避けてしまっていますが、COVID-19 のワクチンの接種も進んで、もう波が来ていなければと、祈っています。よい 2022 年になりますように。

プロフィール 大槻 剛巳 (おおつき たけみ)

- 新庄村国保診療所で内科医師として勤務
- 0歳：京都府福知山市にて生誕
- 14歳：京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位
- 14歳：KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用
- 15歳：倉敷市に転居
- 15 & 18歳：NHKあなたのメロディー出演
- 18歳：YAMAHAポップコン全国大会(譜面の部)出場
- 20歳：YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり
- 24歳：川崎医科大学卒業
- 以降：川崎医科大学血液内科～衛生学にて診療・研究・教育に従事
- 1992-1996年：米国留学(医学研究)
- 1996年：岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載
- 2009年：Camnet CH-F(10-19)パーソナリティ担当
- 2021年3月、川崎医科大学衛生学教授を退官。現在に至る